



北海道の四季を描きつづける標高2,291mの「旭岳」は、まさに地球上の巨大なキャンパス

日本で一番の面積を持つ大雪山脈。

大雪山は北海道のほぼ中央に位置し、2,291mの旭岳を最高峰に、50kmにわたって連なる2,000m級の山々の総称です。総面積は23万ヘクタールあり、これだけの拡がりを持った山地は、日本に例がありません。

大自然のスケールの大きさも日本一です。

大雪山系は北に位置しているため、本州の3,000m級の山々に匹敵する高山環境にあり、高山植物群落の多様さとスケールの大きさもまた、日本一です。それは、さながら巨大な庭に咲き乱れる花々のようです。先住民のアイヌの人々は、カムイミシタラ(神々の遊ぶ庭)と呼んで、その美しさを賞えました。

春の息吹き、秋の紅葉は人の心まで染めてしまう。

旭岳の春は5月下旬頃おとずれます。山腹の「お花畑」には、珍しい高山植物が姿を見せ始め、ダケカンパの樹々がその緑を濃くしてゆきます。8月中旬頃までは、あらゆる高山植物がその美しさを競い、広大な山地を夢のような色どりで包みます。そして8月末に入ると、もう山は秋の気配になります。そして、9月から10月上旬にかけて秋のクライマックス、「紅葉」を迎えます。

ロープウェイから眺める大自然の色彩。

旭岳のパノラマを心ゆくまで楽しむには、なんといってもロープウェイが最適。ロープウェイは標高1,100mから標高1,600mを結び、約10分間の空中散歩。トップシーズンは約15分間隔で運行。旭岳の雄大な自然が一望できます。山麓駅には食堂やショップもあり、終点姿見駅には長靴のレンタルもご用意しております。



東川町お立ち寄りスポット

道の駅ひがしかわ「道草館」

1階コミュニティホールには企業や町内外の写真家の方などから寄贈していただいたカメラを約300台収蔵しており、製造中止になっている貴重なお宝カメラやレンズ等をご覧頂けます。また、東川町の特産品や木工クラフトなども販売しており、清潔感あふれるお手洗いは24時間ご利用可能です。



大雪旭岳源水

旭岳が位置する東川町は北海道で唯一上水道が必要のない水が豊かな町です。その豊かな水資源の中で最上級の銘水が「大雪旭岳源水」。ミネラルがバランス良く豊富に含まれており、水温は約7度と一年を通じて一定を保ち、毎分約4,600ℓの水が湧き出ております。取水は源泉と源水岩からくみ取ることができ、いずれも旭岳の雪解け水が大自然の天然フィルターを長い年月をかけて浸透し、「神秘の水」が最初に湧き出る場所です。



お問い合わせは、ひがしかわ観光協会 Tel.0166-82-3761

交通アクセス



旭岳までのアクセス(自動車)

- ひがしかわ「道草館」から……………約30分
- 大雪旭岳源水から……………約15分
- コート旭川カントリークラブから……………約40分
- 旭川空港から……………約50分
- JR旭川駅から……………約60分
- 旭山動物園から……………約50分
- 旭川鷹栖ICから……………約70分
- 美瑛から……………約40分
- 富良野から……………約80分



旭岳ロープウェイに関するお問い合わせ

ワカサリゾート株式会社 旭岳事業部 〒071-1472 北海道上川郡東川町旭岳温泉
Tel.0166-68-9111 / Fax.0166-68-9112
Tel.0166-97-2234 (運行状況案内テブ)

旭岳 <http://wakasaresort.com/asahidakeropeway/>



Mt. Resort ASAHIDAKE
大雪山 旭岳ロープウェイ



ロープウェイを降りてから一歩踏み出せばそこは美しい高山植物が咲き乱れる雲上の楽園。

夏

ロープウェイを降りると、そこから姿見の池までは散策路が、そして頂上へは登山道が続きます。姿見の池周辺は、高山植物のお花畑が広がるビューポイント。6月上旬から8月中旬頃までは高山植物が咲き誇り、キバナシャクナゲ、チングルマなどの群落が見られます。

旭平周辺散策路

高山植物の開花時期 6月上旬頃～8月中旬頃

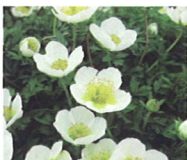
高山植物が咲き乱れる姿見の池周辺



キバナシャクナゲ
地面を這うように枝を伸ばすツツジ科の常緑小低木。枝先に数個集まって咲く花はなんとも美しい。



エゾツガザクラ
葉形が針葉樹のツガの葉を思わせることからこの名がつけました。旭岳でも数種の色を見ることができます。



チングルマ
高さ20cmほどの常緑低木。5つの白色花弁の花が咲き、おしべやめしべの黄色とのコントラストが鮮やか。

春

5月下旬頃～6月中旬頃

長い冬も終わり、旭岳山麓では雪解け水が流れ込む湿地に咲くミズバショウやエゾノリュウキンカが春の訪れを告げる。



雪で覆われていた池も、徐々に水面を覗かせます。



エゾノリュウキンカ
山地の湿地に生える多年草で、俗にヤチブキとも呼ばれています。春の訪れを告げる黄金色の花は楚々として可憐です。



旭岳に生息する愛らしい小動物がお出迎え



エゾシマリス
背中の5本の縞模様の特徴の北海道に生息するリス。木の上より地上で活動することが多い。



ナキウサギ
かつて地球全体が氷河に覆われていた頃から生きた動物で、「氷河期の落とし子」とも呼ばれている。

美しく艶やかなコントラストの紅葉に彩られる秋…そしてダイヤモンドダストが妖精のように宙を舞う神秘的な冬を迎える。

秋、日本の樹々の紅葉は寒さとともに北から南へと下っていきます。旭岳は、標高が高いことから秋の訪れも早く、8月末に入ると徐々に紅葉が始まります。日本中がまだ、残暑に包まれているこの季節でも旭岳では紅葉を見ることができるのです。9月になると紅葉とともに、秋の果実やチングルマの綿毛も楽しめます。旭岳頂上付近では、例年9月下旬に初雪を見ることができます。

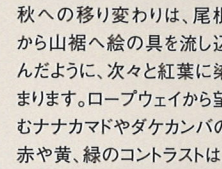


旭岳の紅葉は例年8月末にスタート。10月初めには山麓の温泉付近にまで降りてきます。



秋

赤・黄・緑…と色づく山は自然が織りなす芸術作品。



秋への移り変わりは、尾根から山裾へ絵の具を流し込んだように、次々と紅葉に染まります。ロープウェイから望むナナカマドやダケカンパの赤や黄、緑のコントラストは、まさに自然が描く芸術品。一度は目にしたい傑作です。



チングルマの綿毛と軍紅葉

紅葉の見頃 9月上旬頃～10月上旬頃

冬

クリスタルのようにきらめきを放つシルキースノー、そして凍てつく気温、一面銀世界の冬はまさに幻想の世界。



ウィンターシーズン 12月～5月連休迄



冬の旭岳では日本最高級ともいわれるパウダースノーを体感できます。また、そのときの気象条件によって、「ダイヤモンドダスト」や「サンピラー」、自然の造形物である「霧氷」「風紋」などを見ることができます。

※高山植物の配置はイメージです